

まちのイベントを
写真で紹介

カメラアイ



01



02

笑顔でスイセンをプレゼント

高野小学校の児童が2月26日、お年寄りを訪ね、スイセンをプレゼントしました。

日頃お世話になっている地元の1人暮らしのお年寄りに元気と感謝の気持ちを伝えるため毎年実施しているもので、この日は4年生45人が8班に分かれて59軒を訪問しました。

また、花と一緒に「体を大切にしてください」など書いた手紙も添えました。参加した児童たちは、「喜んでくれて嬉しかった」と話していました。

01. スイセンと手紙を手渡す 02. 民生児童委員の案内で訪問

3年間の思いを胸に清掃活動

和田中学校の3年生の生徒52人が3月11日、通学路を中心に校区内の清掃活動を行いました。

3年間の中学校生活の締めくくりと新たな道（進路）に進む思いを込めて実施したものの。

当日は、体操服姿でごみ袋や火ばさみを持ってたばこの吸い殻や空き缶、ペットボトル、折れた傘など通学路に落ちていたごみを拾い集めていました。

生徒たちは3月15日に卒業し、4月からそれぞれの道を歩んでいきます。



01



02

03

01.02.03. 各班に分かれて清掃活動をする生徒

全国大会出場者を紹介

全国大会出場おめでとう

- ☆全国高等学校体操競技選抜大会（3月20日・21日、佐賀県）◇大戸優妃奈（西舞鶴高1年）
- ☆全日本中学生バドミントン選手権大会（3月23日～25日、香川県）◇小谷翼（加佐中2年）◇増田智（城北中2年）◇谷口侑弥、村上知紘（城南中1年）
- ☆全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会（3月23日～26日、石川県）◇瀬野郁希（加悦谷高2年、白糸中出身）◇濱田翔太（海洋高3年、若浦中出身）
- ☆都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会（3月26日～28日、三重県）◇井上昂、梅原睦矢、角内将大、深井律希（以上城南中2年）◇山崎一輝（青葉中2年）◇荒木健太、白井裕紀（以上和田中1年）
- ☆全国高等学校選抜レスリング大会（3月27日～29日、新潟県）◇中村二鷹（海洋高2年、白糸中出身）
- ☆全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会（3月27日～31日、新潟県）◇越後智行（城南中3年）
- ☆JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアスキー選手権大会（スノーボード競技）（3月28日・29日、北海道）◇今井心求（白糸中3年）◇今井優求（白糸中1年）
- ☆都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会（3月28日～30日、東京都）◇豊田悠人（白糸中2年）
- ☆全日本スキー選手権大会（スノーボード競技）（3月30日・31日、北海道）◇今井心求（白糸中3年）
- ☆JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアスキー選手権大会（フリースタイル競技）（4月2日・3日、長野県）◇石井沙知（西舞鶴高1年）◇石井汰旺（白糸中3年）

以上敬称略。学年は平成24年度。



▲木造毘沙門天立像

市教育委員会では、市文化財保護委員会（山内羔児会長）の答申に基づき、3月22日、文化財5点を新たに市指定文化財に指定しました。新たに指定したのは美術工芸品・彫刻の「木造毘沙門天立像」（多門院・黒部地区所有）1件と有形民俗文化財の

「朝代神社祭礼芸屋台（見送幕も含む）」（新・丹波・西・魚屋自治会所有）4件。これで市内の文化財は国指定・登録などが38件、府指定・登録などが40件、市指定が99件の計177件となりました。

市指定文化財

新たに5点

毘沙門天立像、芸屋台

新たに指定した文化財の解説

木造毘沙門天立像（黒部地区所有）

高さ41・7センチ。ヒノキ材を使用、彩色および漆箔仕上げ、玉眼、寄木造。元来、この地にあった毘沙門堂に伝えられたものといわれている。左足接合部にある至徳2年（1385年）の墨書から南北朝時代の作と分かる。中世の在銘彫刻は市内に極めて少なく貴重なものである。当時の神将像の作風をよく表しており、後補部も比較的小さい点から、当代の基準事例として評価される。（公開していません）

朝代神社祭礼芸屋台

江戸時代から朝代神社の祭礼には、西地区の10町から芸屋台が出され、子ども歌舞伎が上演された。今回は子ども歌舞伎の上演に使用された芸屋台のうち4基と各芸屋台付属の見送幕を指定（他の芸屋台も指定に向け順次調査を進めていく方針）。芸屋台は、四輪の台車の上に屋根を組み、唐破風屋根を持つ。屋台前方は三方吹き抜けの舞台となり、周囲を組



▲新芸屋台



▲丹波芸屋台見送幕「楼閣風景図」朝鮮毛織見送



▲西芸屋台（舞鶴公園・芸屋台収蔵庫で展示中）



▲魚屋芸屋台見送幕「韓信の股ぐり図」刺繍見送

勾欄で囲む。舞台正面と右側面には花道を設け、後方を楽屋兼囃子方の座席としている。舞台の柱と唐破風屋根の鳳凰は漆仕上げ。近世の芸屋台の構造・意匠を骨格としながらも、新しい技術と協調しながら祭礼を伝統的に行おうとして、花道の機構に鋳鉄を用いたり、結合に六角ボルトを使用したりする芸屋台も見られる。（普段は公開していません）▼詳しくは、社会教育課（☎66・1073）へ。